

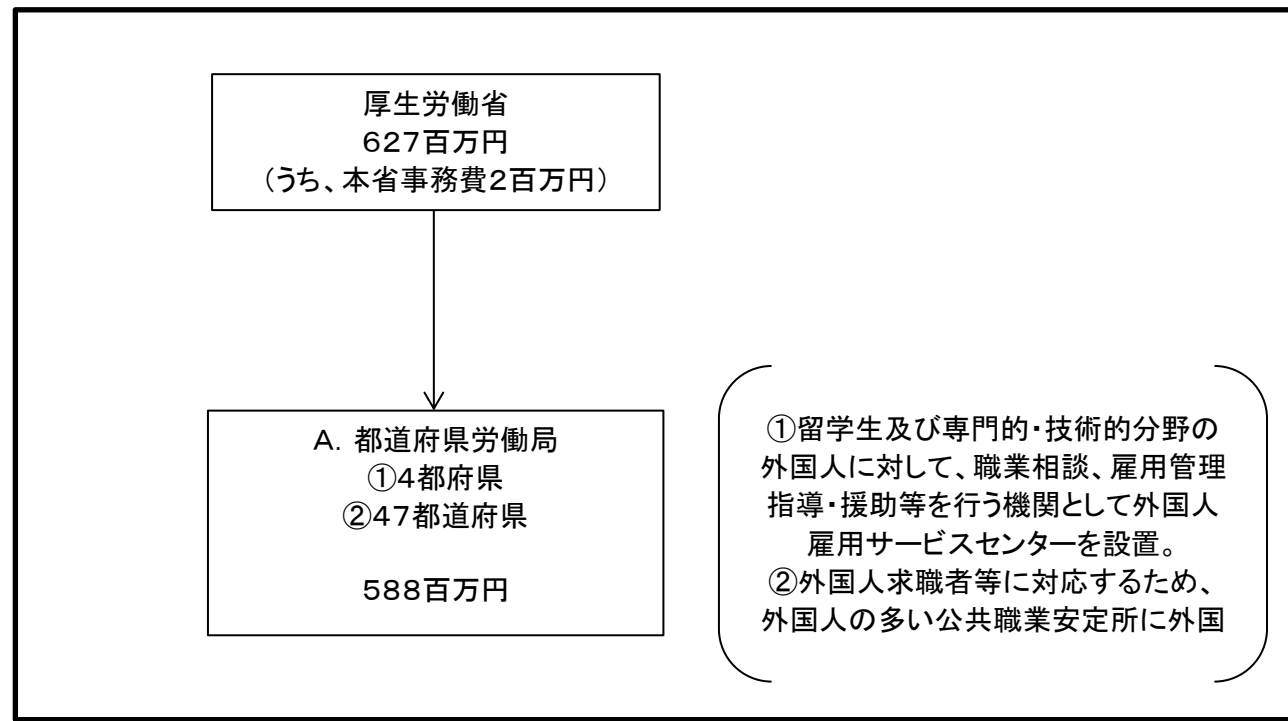
平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	外国人雇用サービスセンター等運営費			担当部局庁	職業安定局派遣・有期労働対策部			作成責任者
事業開始年度	平成14年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	外国人雇用対策課			外国人雇用対策課長 堀井奈津子
会計区分	一般会計、労働保険特別会計雇用勘定			政策・施策名	IV-3-1 高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用対策法第4条第1項、第4条第1項第10号、第3項、第8条、第9条、第28条、第32条、第36条			関係する計画、通知等	「外国人労働者の雇用管理の改善等に関して事業主が適切に対処するための指針」、「生活者としての外国人」に関する総合的対応策、「日本経済の進路と戦略」、「高度外国人材受入推進会議」報告書、「留学生30万人計画(骨子)」、「日本再興戦略」、「日本再興戦略(改訂2014)」、「産業競争力強化のための実行計画」、「成長戦略進化のための今後の検討方針」、「外国企業の日本への誘致に向けた5つの約束」			
主要政策・施策				主要経費	社会保障、その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3程度以内)	日本での就職を希望する留学生や専門的・技術的分野の外国人、日本国内に居住する定住外国人など、就労を希望する外国人が職業相談等を通じて日本での就職を実現させること。また、日本で就労する外国人労働者が、在留資格の範囲内で適法に労働に従事することで、安定した雇用の維持・確保が図られること。							
事業概要 (5程度以内。別添可)	①東京、名古屋、大阪に外国人雇用サービスセンターを設置するとともに、外国人求職者の多い公共職業安定所に通訳や職業相談員を配置し、我が国での就労を希望する留学生・専門的・技術的分野の外国人や日系人等の定住外国人に対し、専門的な職業相談・紹介等を行う。 ②身分に基づく在留資格で日本に在住する外国人を対象に、日本語コミュニケーション能力の向上、我が国の労働法令、雇用慣行、労働・社会保険制度等に関する知識の習得に係る講義・実習を内容とした外国人就労・定着支援研修を実施する。 ③日系人の就労の適正を図るため、南米最大の日系人居住地であるブラジル・サンパウロの現地法人を通じて、来日前の日系人に対する情報提供等を実施する。							
実施方法	直接実施、委託・請負							
予算額・執行額 (単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
	予算の状況	当初予算	624	646	641	1,785		
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計		624	646	641	1,785	0	
	執行額		560	611	627			
執行率(%)		90%	95%	98%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	外国人の求職者の就職率	外国人雇用サービスコーナー等を利用した外国人求職者の就職率	成果実績	%	17	19.9	20.8	
			目標値	%	14	14	15	19
			達成度	%	121%	142%	139%	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	アンケートにおいて「満足」「やや満足」と回答した者の割合	外国人就労・定着支援研修受講者の満足度	成果実績	%	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	90
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	外国人雇用サービスコーナー等の職業相談件数 (24~26は日系人集住地域を除く)	活動実績	件	112,618	103,613	89,184		
		当初見込み	件	109,000	112,000	89,000	180,000	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	外国人就労・定着支援研修受講者数	活動実績	人	-	-	-		
		当初見込み	人	-	-	-	4,000	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	単位当たりコスト = X/Y(※通訳を配置したサービスコーナーの相談件数1人当たりの経費。24~26年度は日系人集住地域を除く。) X:「執行額(千円)」 Y:「相談件数」		単位当たりコスト	円	4,973	5,901	6,874	6,490
			計算式	X/Y	560,000千円/112,618件	611,410千円/103,613件	613,060千円/89,184件	1,168,283千円/180,000件
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	相談員・通訳等経費	1,168		平成20年度のリーマンショック発生時と比較し雇用失業情勢が改善したことから、平成27年度より、リーマンショックの発生を踏まえて措置した予算「日系人集住地域を管轄する公共職業安定所のマッチング機能の強化(レビューシート番号556)」と本事業と整理統合し一本化したため、平成27年度予算額が増額している。 なお、統合に当たっては事業内容を見直し、以下のとおり予算を縮減している。 (参考)統合前後の予算額 平成26年度:1,885百万円(※レビューシート555+556の予算額) → 平成27年度:1,785百万円				
	外国人就労定着支援研修経費	617						
計	1,785	0						

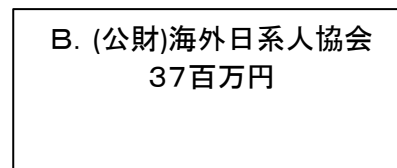
事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	留学生の国内における就労促進を図ることは、改訂日本再興戦略等に盛り込まれた重要施策であるとともに、離職した外国人の再就職を支援することは、雇用対策法で義務づけられている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	上記の理由により、国が自ら取り組むべき施策と考えているが、研修の実施など、民間企業を活用することが効果的な事業については委託して実施している。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	雇用対策法上の責務や改訂日本再興戦略等に明記された内容を達成するために必要な事業であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	委託事業について、ブラジル連邦共和国外務省と在ブラジル日本大使館との間で交換された口上書に基づき実施するものであることを踏まえ、会計法第29条の3第4項および予算令第102条の4第3号に基づく随意契約を行っている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	事業の実施に必要なコストであり、妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	職業相談や研修の実施に必要な教材費・会場費など必要な経費に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	就職率は目標値を上回っている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	我が国での就労を希望する留学生や専門的・技術的分野の外国人に対し、専門的な職業相談・職業紹介を行っており、成果実績も目標を上回っており、実効性の高い手段となっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	雇用失業情勢の改善により相談件数が減少したものの、依然として一定程度の実績が上がっておりリーマンショック前の水準までは回復していない。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	外国人求職者の相談の拠点として、外国人雇用サービスコーナー及びサービスセンターは広く認知されており、十分に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	本事業は留学生をはじめとする専門的・技術的分野の外国人労働者等を対象に、企業とのマッチング支援を行うための体制整備を図るもの。他方、556は、リーマンショックの発生を踏まえ、失業を余儀なくされた日系人離職者の再就職支援を緊急雇用対策として実施してきたもの。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	厚生労働省職業安定局外国人雇用対策課	556	日系人集住地域を管轄する公共職業安定所のマッチング機能の強化		
点検・改善結果	点検結果	外国人雇用サービスコーナー等を利用した外国人求職者の就職率が目標値を上回るなど、事業効果は上がっている。また、リーマンショック後の経済情勢の改善等を踏まえ、リーマンショックの発生を踏まえた日系人離職者の再就職支援として実施してきた「日系人集住地域を管轄する公共職業安定所のマッチング機能の強化」と本事業を整理統合し実施するなど、より効率的な事業の実施に努めている。			
	改善の方向性	上記の状況を踏まえ、引き続き事業を実施する。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	935	平成23年度	807	平成24年度	710
平成25年度	550	平成26年度	547		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

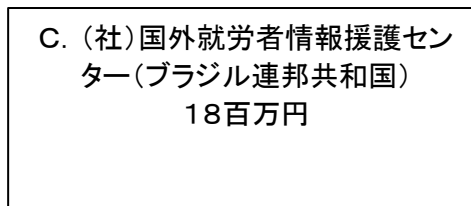


【随意契約】



日本国内における(社)国外就労者情報援護センターへの後方支援の実施。
(求人情報・雇用情勢等の情報提供、専門家の派遣)

【一部・再委託】



日本で就労を希望する日系人等に対する職業相談等の実施

A.東京労働局			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	外国人雇用サービスセンター等の設置運営費	168			
計		168	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	事業に係る直接経費	22			
人件費	事業に係る人件費	13			
消費税		2			
計		37	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	事業に係る直接経費	11			
人件費	事業に係る人件費	5			
負担金	事業に係る現地税金等	2			
計		18	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京労働局	外国人雇用サービスセンター・外国人雇用サービスコーナー等における留学生・日系人等に対する職業相談。	168	-	-
2	愛知労働局	外国人雇用サービスセンター・外国人雇用サービスコーナー等における留学生・日系人等に対する職業相談。	102	-	-
3	大阪労働局	外国人雇用サービスセンター・外国人雇用サービスコーナー等における留学生・日系人等に対する職業相談。	77	-	-
4	岐阜労働局	外国人雇用サービスセンター・外国人雇用サービスコーナー等における留学生・日系人等に対する職業相談。	31	-	-
5	静岡労働局	外国人雇用サービスセンター・外国人雇用サービスコーナー等における留学生・日系人等に対する職業相談。	30	-	-
6	埼玉労働局	外国人雇用サービスセンター・外国人雇用サービスコーナー等における留学生・日系人等に対する職業相談。	15	-	-
7	茨城労働局	外国人雇用サービスセンター・外国人雇用サービスコーナー等における留学生・日系人等に対する職業相談。	15	-	-
8	千葉労働局	外国人雇用サービスセンター・外国人雇用サービスコーナー等における留学生・日系人等に対する職業相談。	10	-	-
9	広島労働局	外国人雇用サービスセンター・外国人雇用サービスコーナー等における留学生・日系人等に対する職業相談。	10	-	-
10	福岡労働局	外国人雇用サービスセンター・外国人雇用サービスコーナー等における留学生・日系人等に対する職業相談。	9	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)海外日系人協会	日本国内における(社)国外就労者情報援護センターへの後方支援の実施(求人情報・雇用情勢等の情報提供、専門家の派遣)	37	随意契約	-
2					
3					
4					
5					

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国外就労者情報援護センター	日本で就労を希望する日系人に対する職業生活相談、個別求人情報の提供、求職申込みの取り次ぎ、及び日系人の就労経路適正化に関する業務	18	再委託	-
2					
3					
4					
5					